

*Study in English  
at Japanese universities*



# 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 2012年度Follow-Up

構想責任者  
国際連携推進機構  
国際化推進室長 田端 信廣



## 1. 本事業の成果

### 1) 数量的成果: 特筆すべき効果と波及効果

- ① 学術交流協定の拡充
- ② 留学生の受入
- ③ 協定等に基づく学生の派遣
- ④ 海外拠点の拡充

### 2) 質的成果: 特筆すべき効果と波及効果

- ① 英語プログラムの設置
- ② 海外大学との連携プログラムの新たな実施
- ③ 教育体制の充実
- ④ 全学における国際化推進体制の充実

## 2. 取組状況

- ① 留学生受入のための環境整備
- ② 拠点大学の国際化とネットワークの形成

## 3. 中間評価と対応状況

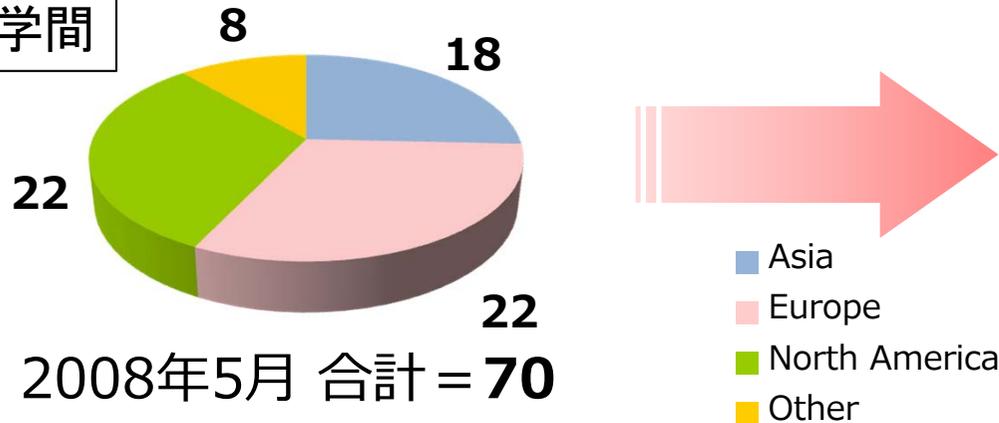
## 4. 経費の使用状況

## 5. 今後の課題とG30事業終了後の展開

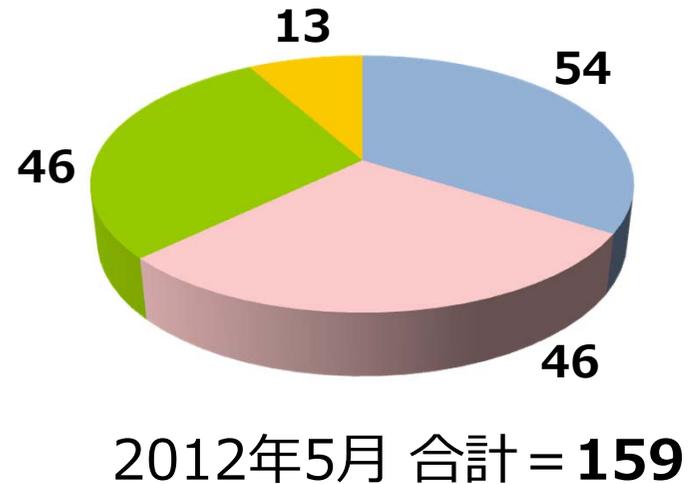


## 交流学生の増加・研究の国際化推進

大学間

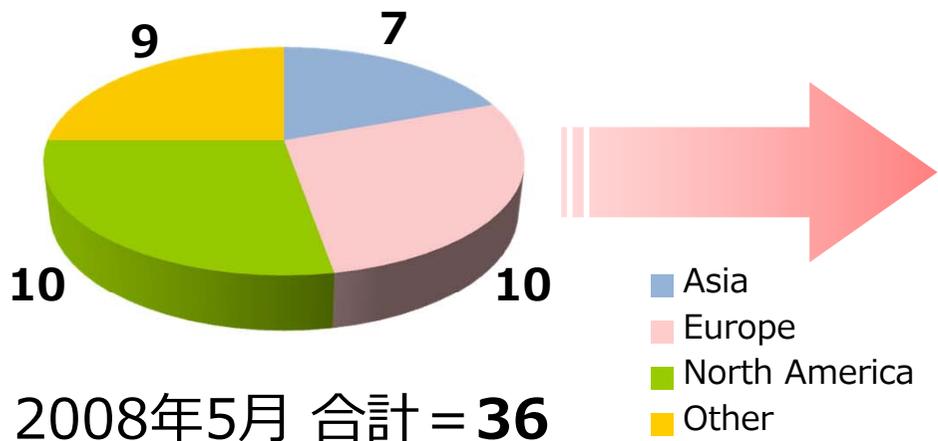


2008年5月 合計 = **70**

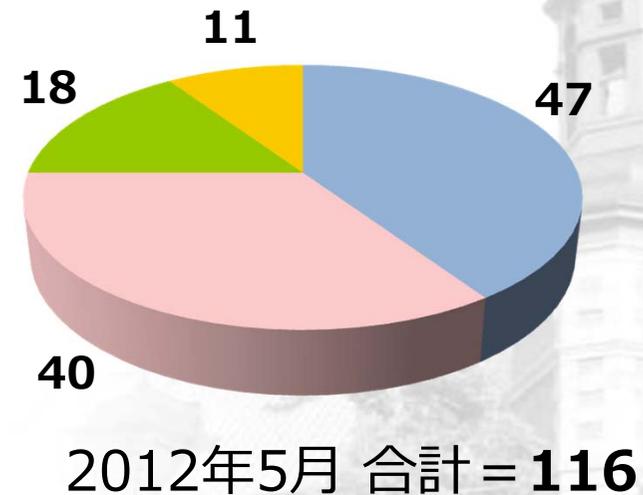


2012年5月 合計 = **159**

学部・研究科間



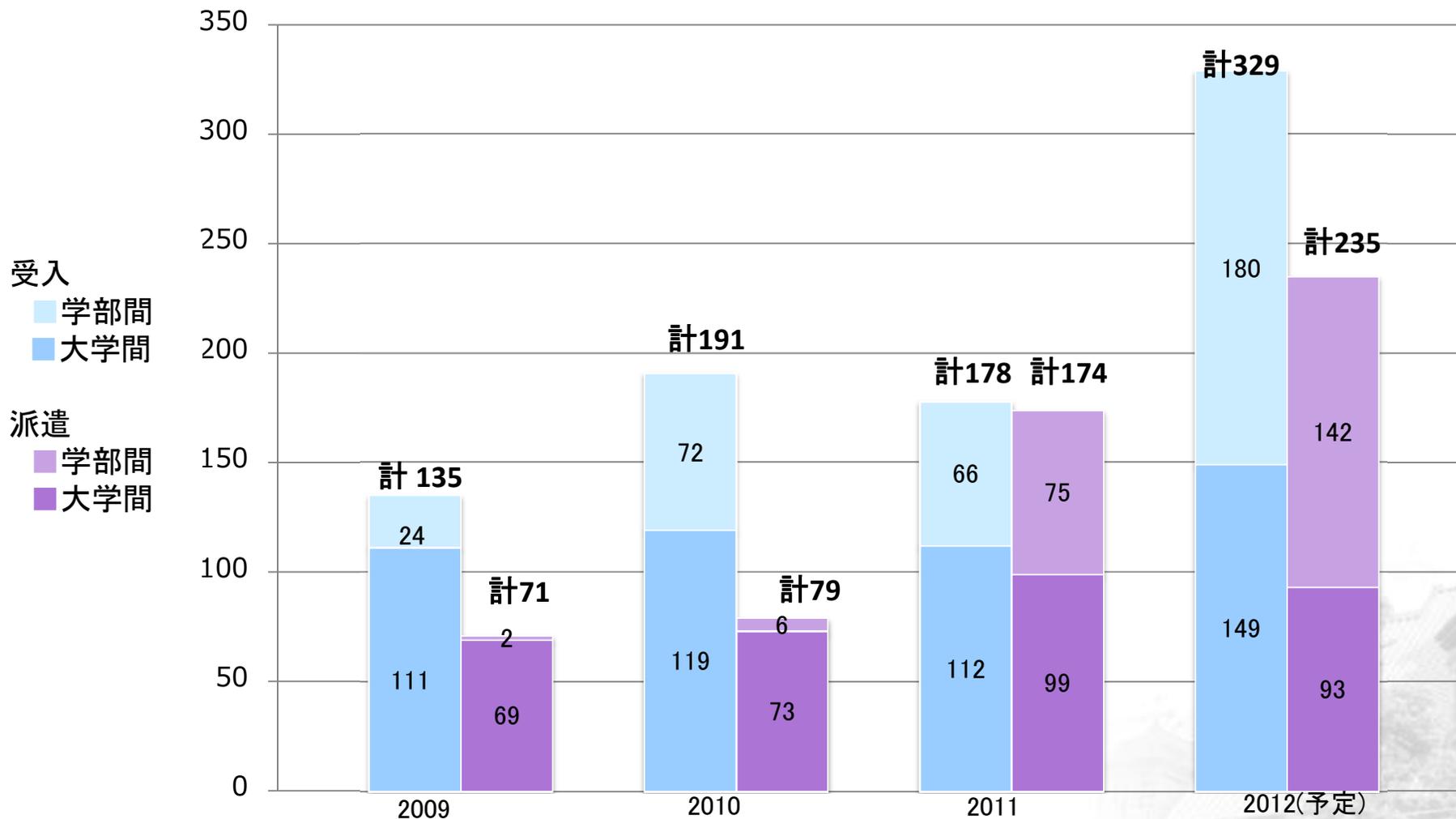
2008年5月 合計 = **36**



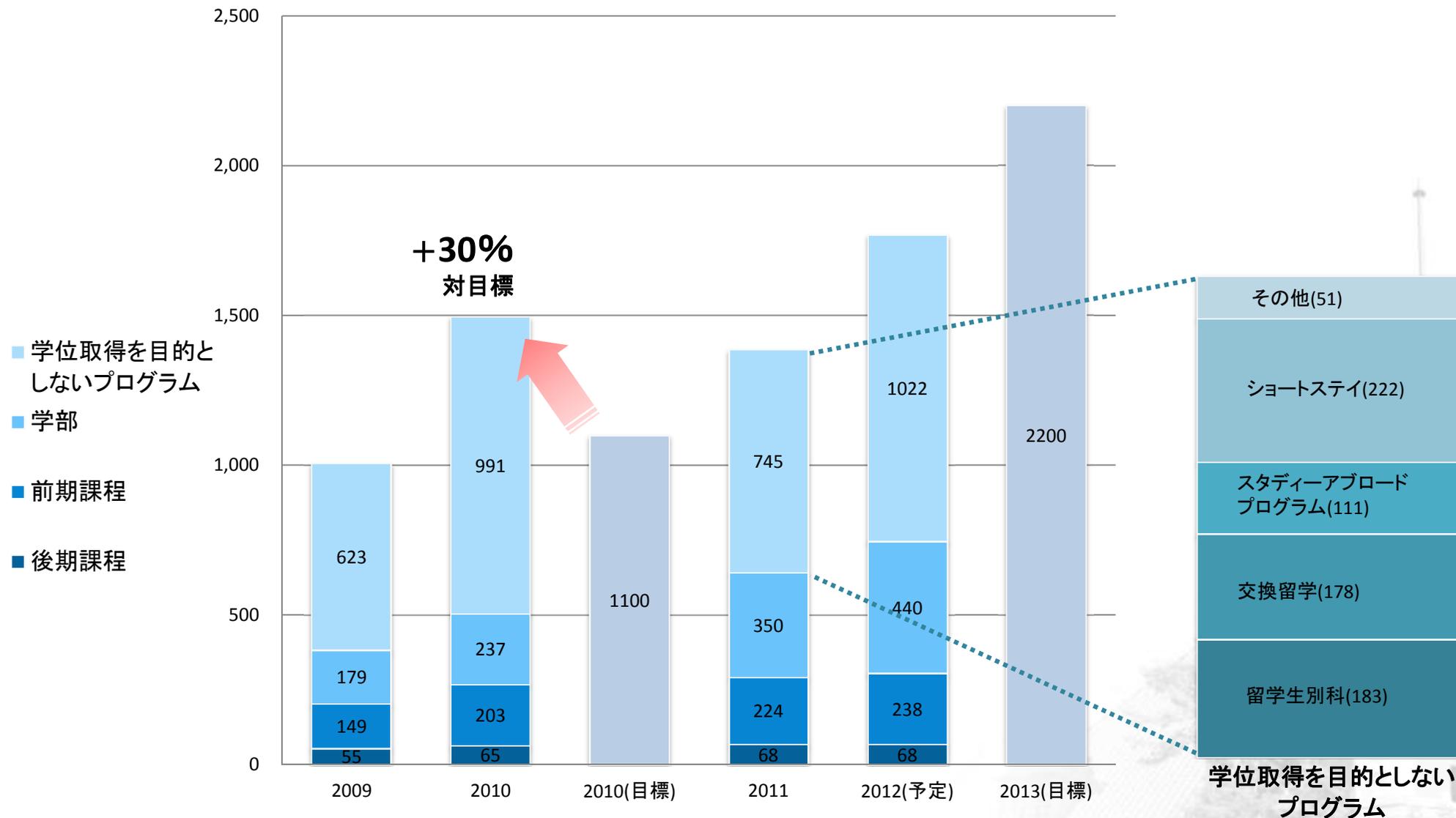
2012年5月 合計 = **116**

1 学術交流協定の拡充 II

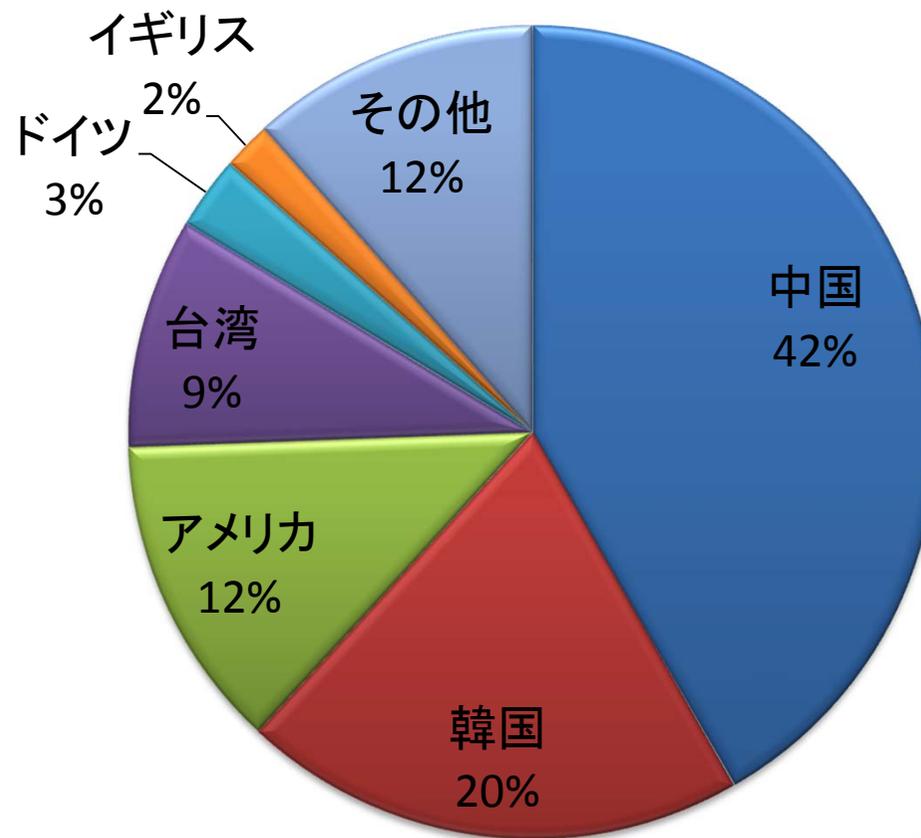
協定に基づく学生の受入・派遣人数の増加



## 留学生数の増加（受入学生プログラム別）



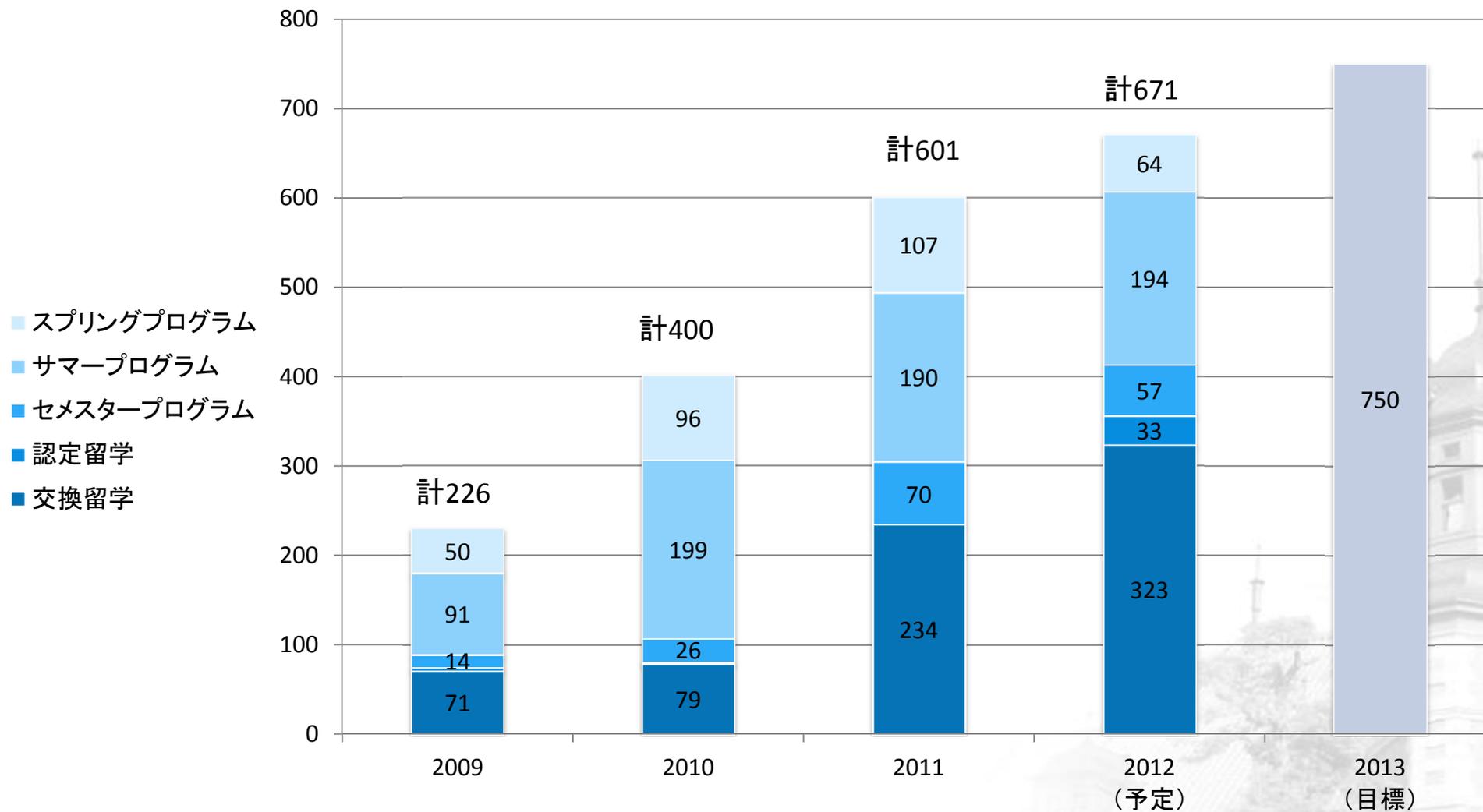
## 2012年度 留学生の国籍割合 (5月1日時点)



### その他 国籍内訳

- ・イタリア
- ・インドネシア
- ・オーストラリア
- ・オランダ
- ・カナダ
- ・シンガポール
- ・タイ
- ・ネパール
- ・フランス
- ・フィンランド
- ・ベトナム (他33ヶ国)

## 派遣学生数の増加(派遣学生プログラム別)



## 留学プログラムに対する財政支援

**トータル予算: 5,000万円** (2011年度実績)

海外へ送り出す学生に対する奨学金	
交換留学	¥300,000 / 年 ¥150,000 / セメスター
セメスタープログラム	¥250,000
認定留学	¥250,000
サマー& スプリングプログラム	各¥70,000
大学院生の海外留学	¥100,000

## 海外拠点事務所の拡充

2009年5月(G30申請当初):

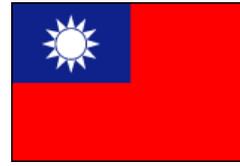
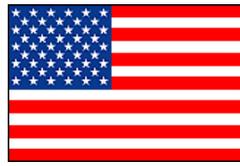
3拠点(マレーシア、アメリカ、イギリス)、  
1事務所(台湾(台北))

2009年度 : 2事務所(イギリス(ロンドン)、ベトナム(ハノイ))

2010年度 : 2カ国3事務所(中国(北京・上海)、韓国(ソウル))

2012年度 : 1事務所(トルコ(イスタンブール))

- 現地の高等教育情報の収集
- 留学希望者、在学生父母のサポート
- 入学願書等の受付、サポート
- 本学学生・教職員の現地活動サポート
- 危機管理

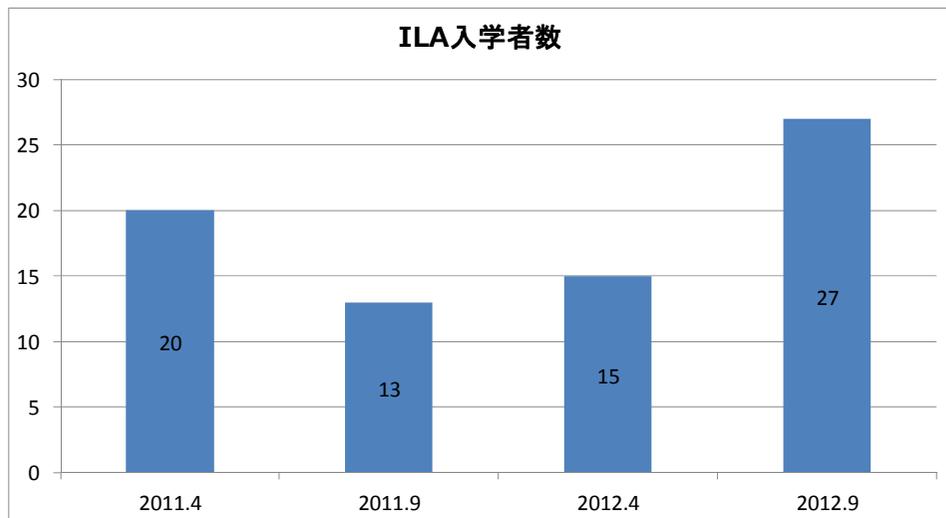


韓国事務所  
(大学コンソーシアム京都加盟大学への利用供与)

1 英語プログラムの設置 I

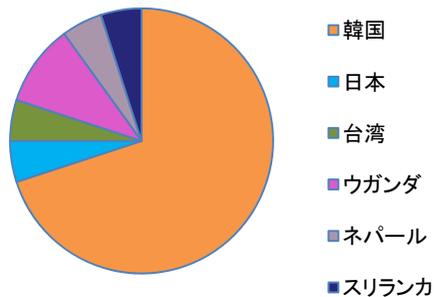
英語による授業のみで修了できるコース: 学士課程

国際教育インスティテュート(ILA)コース

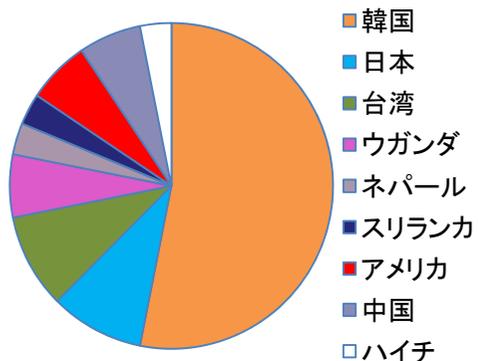


ILA在籍者(国別)の推移

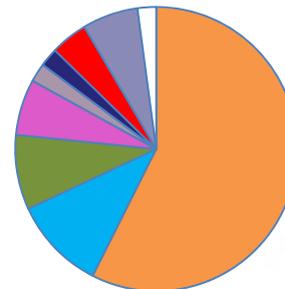
2011年春学期



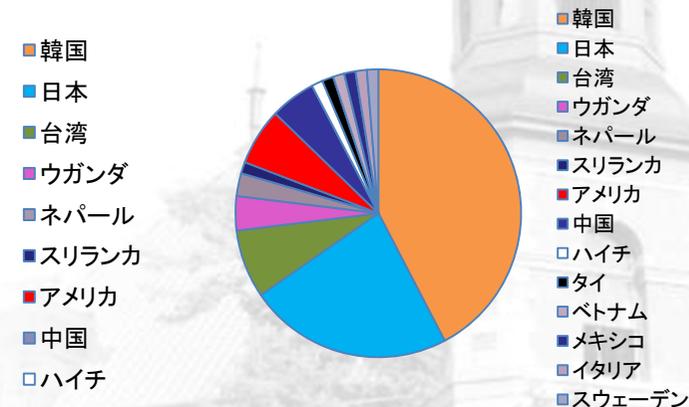
2011年秋学期



2012年春学期

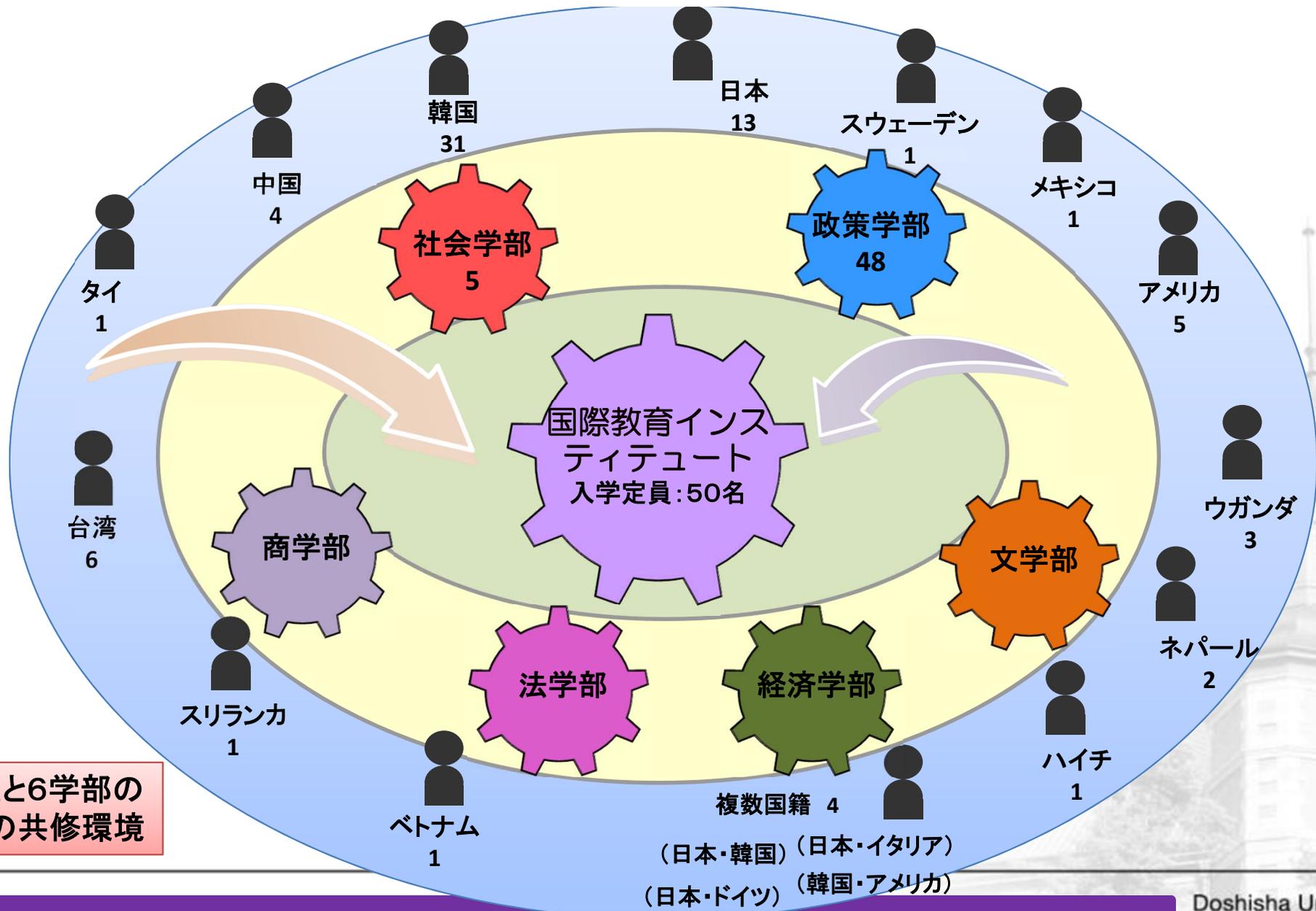


2012年秋学期



# 1 英語プログラムの設置 II

## 国際教育インスティテュート(ILA)国籍別在籍者数(2012年10月1日時点)



ILA学生と6学部の  
学生との共修環境

英語による授業のみで修了できるコース: 博士(前期)(後期), 専門職学位課程

## 国籍別在籍者数一覧

(2012年 10月1日時点)

### 国際科学技術コース / ISTC (21)

博士課程(前期)	
フランス	7
中国	5
イタリア	2
メキシコ	1
スウェーデン	1
サウジアラビア	1
台湾	1
トルコ	1
マレーシア	1
リトアニア	1

### グローバル MBA コース(39)

専門職学位課程	
中国	7
アメリカ	5
メキシコ	3
タイ	3
カナダ	2
インド	2
インドネシア	2
フィリピン	2
台湾	2
ボツワナ	1
ブラジル	1
カンボジア	1
グルジア	1
ヨルダン	1
韓国	1
リビア	1
モンゴル	1
サウジアラビア	1
トルクメニスタン	1
ベネズエラ	1

### グローバルスタディーズ 研究科(41)

博士課程(前期)	
中国	16
アフガニスタン	4
フィンランド	1
キルギスタン	3
ネパール	1
パレスチナ	1
オランダ	1
台湾	1
博士課程(後期)	
カナダ	2
中国	2
インドネシア	3
アフガニスタン	1
フランス	1
インド	1
カザフスタン	1
トルコ	1
イラン	1

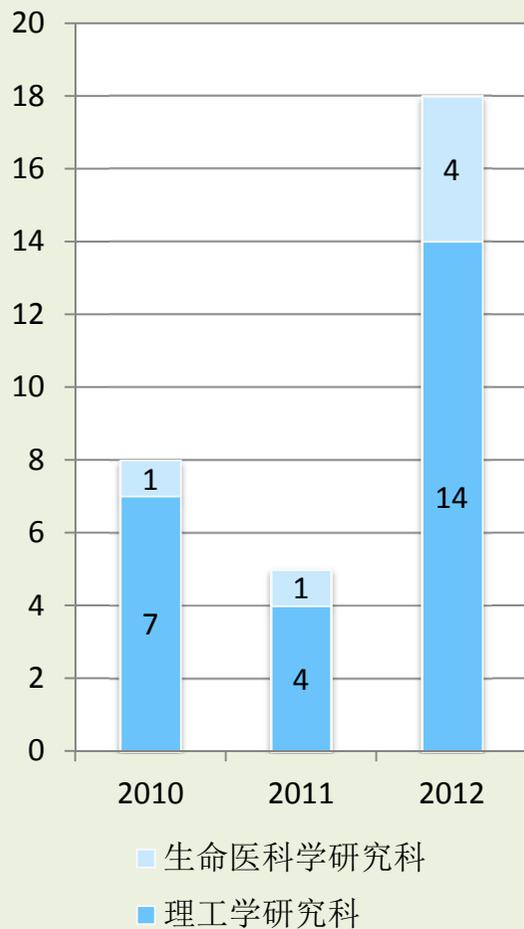
1 英語プログラムの設置 IV

英語による授業のみで修了できるコース: 博士(前期)(後期), 専門職学位課程

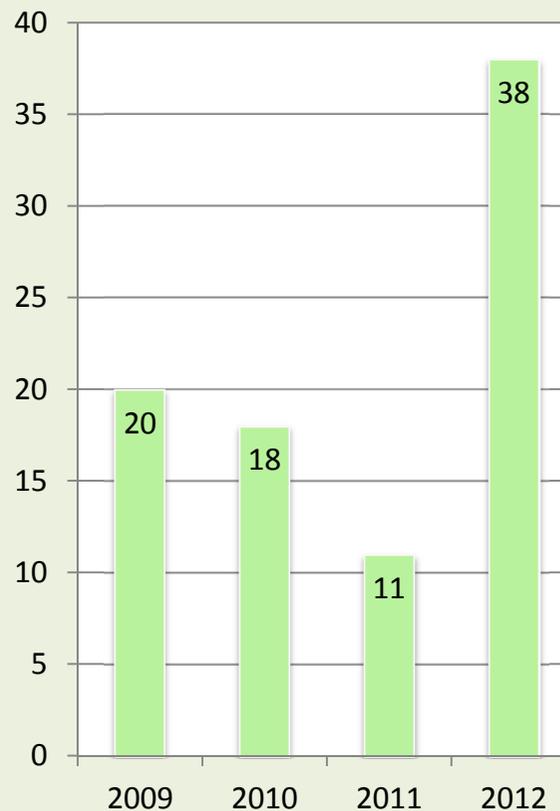
入学者数推移一覧

(2012年 10月1日時点)

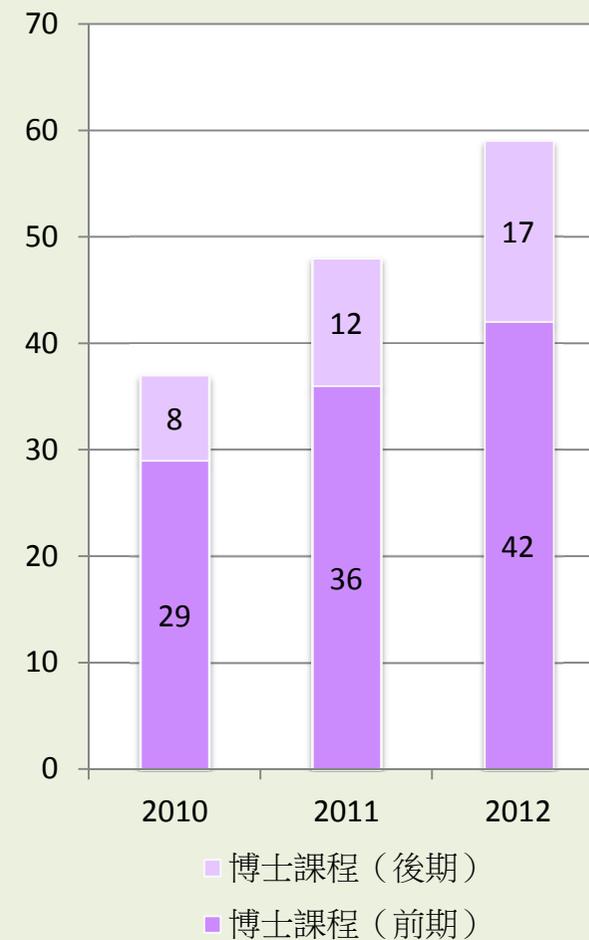
国際科学技術コース  
/ ISTC(博士課程(前期))



グローバル MBA コース  
(専門職学位課程)



グローバルスタディーズ  
研究科



## 英語コースの学生からの評価等



ILAの多くの授業は、先生が一方向的に講義をされるのではなく、欧米の大学のように学生が自らテーマを見つけて調べたり考えたりすることが求められます。そのため前もって資料を読み、自分の言葉で解釈しておかなければ、発表や討論に参加することができません。準備は大変ですが、このような授業によって生きた知識が身につくことを実感しています。

李 ヘヨンさん(韓国出身)  
国際教育インスティテュート



各自が興味のあるテーマを選んでプレゼンテーションすることで、日本社会や経済を多面的に学ぶことができ面白いです。1人ひとりがそれぞれ異なる文化、自分の世界を持っていて、様々な考え方があるのはとても興味深いですね

ジャン・ピエール・スティーブさん(ハイチ出身)  
国際教育インスティテュート



グローバルMBAコースの授業は、私にとって実り多いものでした。加えて授業は世界的な水準を満たしていました。先生は豊富な学術経験と社会での実務経験を持っていて、その経験に裏づけされたスキルや知識を学ぶことは意義深かったです。総じて素晴らしい学びの経験を得られました。

クリスチャン・シュミットさん  
2010年度交換留学生(ヨーテボリ大学) グローバルMBAコース

## 英語コースの学生からの評価等



指導して下さる先生方は、私が履修内容を自分自身の研究にどのように生かせるかについてしばしば興味を示して下さいます。大学も実験に必要な設備のすべてを用意して下さるほか、当該分野の関係企業と直接交流する機会をくださいました。

ラマス・デ・アンダ・ホルヘ・エドゥアルドさん(メキシコ出身)  
工学研究科博士課程(前期)機械工学専攻 国際科学技術コース(ISTC)



先生方は国際機関や政府機関での勤務経験など、さまざまなバックグラウンドを持っています。授業はオープンマインドで互いの考えをシェアすることができるので、学生同士が相互に学ぶことができ、先生もサポートもして下さいます。特に先生方は国際情勢に精通されており、授業で最新の国際情勢をテーマにして下さるので、学生は今世界で起こっていることを身近に知ることができ、グローバルな視点を養うことができます。

アリヤ・ツハイさん(カザフスタン出身)  
グローバルスタディーズ研究科博士課程(後期)

## 授業訪問

**【Art Communication (An Introduction to Chanoyu-The Way of Tea)】**

茶道の歴史、哲学を紹介するほか、お茶の飲み方や点て方など、茶道の作法を習得



国際教育インスティテュート  
(ILA)

**【Strategies for Asia Pacific】**

アジア・太平洋地域における企業の戦略的アプローチを検証



グローバル MBA コース

## Double Degree Programの充実

### 6大学とダブルディグリープログラムを実施

2012年5月時点

海外大学	同志社大学 学部・研究科	累計実績	学位取得実績
エコール・セントラル国立理工科学院連合 (フランス)	理工学研究科・生命医科学研究科	派遣:14 受入:18	博士前期:24 博士後期:2
パリ市立工業物理化学大学院大学 (フランス)	理工学研究科・生命医科学研究科	派遣:2 受入:3	博士前期:2 博士後期:0
ミラノ工科大学 (イタリア)	理工学研究科・生命医科学研究科	派遣:0 受入:0	
西安電子科技大学 (中国)	理工学研究科・生命医科学研究科	派遣:0 受入:6	博士前期:4 博士後期:0
シェフィールド大学 (イギリス)	法学研究科	派遣:1 受入:0	
成均館大学 (韓国)	法学研究科	2013年度より 開始	

## 受入プログラム

2012年5月時点

受入プログラム名	期間	募集人数	主・使用言語
カールトンカレッジ オフキャンパスセミナー	9週間	15	英
ノースイースタン大学 サマープログラム	1週間	20	日
ニューオリンズ大学 同志社プログラム	4週間	15	英
ロチェスター工科大学 RIT-同志社夏期短期留学	5週間	10	日
ハーバード大学 サマースクール	7週間	10	英
KCJSサマープログラム	6週間	30	日
CLSプログラム	8週間	30	日
同志社大学 サマー・セッション	3週間	30	日
同志社大学 スプリング・セッション	2週間	15-20	日



## 英語科目の日本人学生履修促進

### 同志社大学に留学拠点を置く海外の大学の機関

AKP (Associated Kyoto Program) 1972年設置・40周年

\* Amherst, Williams, Middlebury等

(アメリカのリベラルアーツのトップ16大学で構成)



Tübingen University Center 1993年設置

for Japanese Language at Doshisha University



Stanford Center 2006年設置

for Technology and Innovation (SCTI)



KCJS (Kyoto Consortium for Japanese Studies) 2009年設置

\*Harvard, Yale, Princeton, Columbia等

(アメリカのトップ14大学で構成)



## 外国人教員の雇用促進



## 4 全学における国際化推進体制の充実 I

### 英文化WG

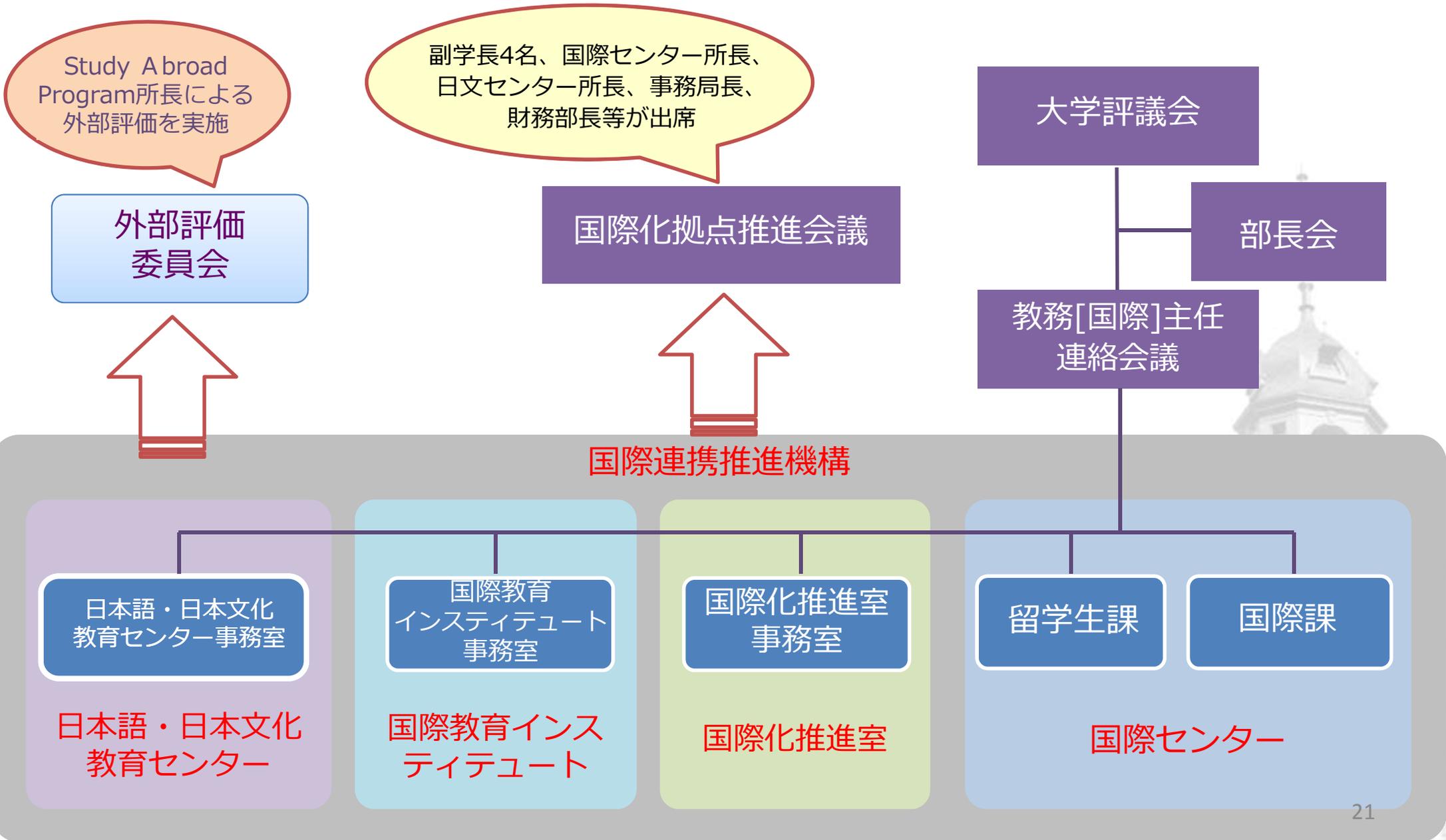
年度	開催回数	参加人数	内容
2010	第1回	82	①開催の目的の説明 ②各組織の状況、問題点の共有 ③MLIについて
	第2回	60	①各組織の状況、問題点の共有(事例紹介)
	第3回	54	①同志社大学英文用語集について, その他②国費留学生制度について
2011	第1回	51	①同志社大学英文用語集について, その他 ②外国人の在留資格について
	第2回	34	①同志社大学英文用語集について, その他②大学間協定・学部(研究科)間協定について
	第3回	35	①同志社大学英文用語集について, 文書の英文化について ②外国人留学生の学生生活および在籍管理の留意点について
	第4回	39	①文書の英文化について ②「派遣留学」の概要とその関連手続きについて
	第5回	48	①文書の英文化について ②留学生別科の現状について, 「国際教育インスティテュート」について
	第6回	46	①同志社大学のグローバル化の取り組みについて ②留学生統計と留学生身分の種類について
	第7回	30	①文書の英文化について ②学内文書英文化ワーキンググループの総括:「国際化推進の意義」

事務組織の  
国際化促進

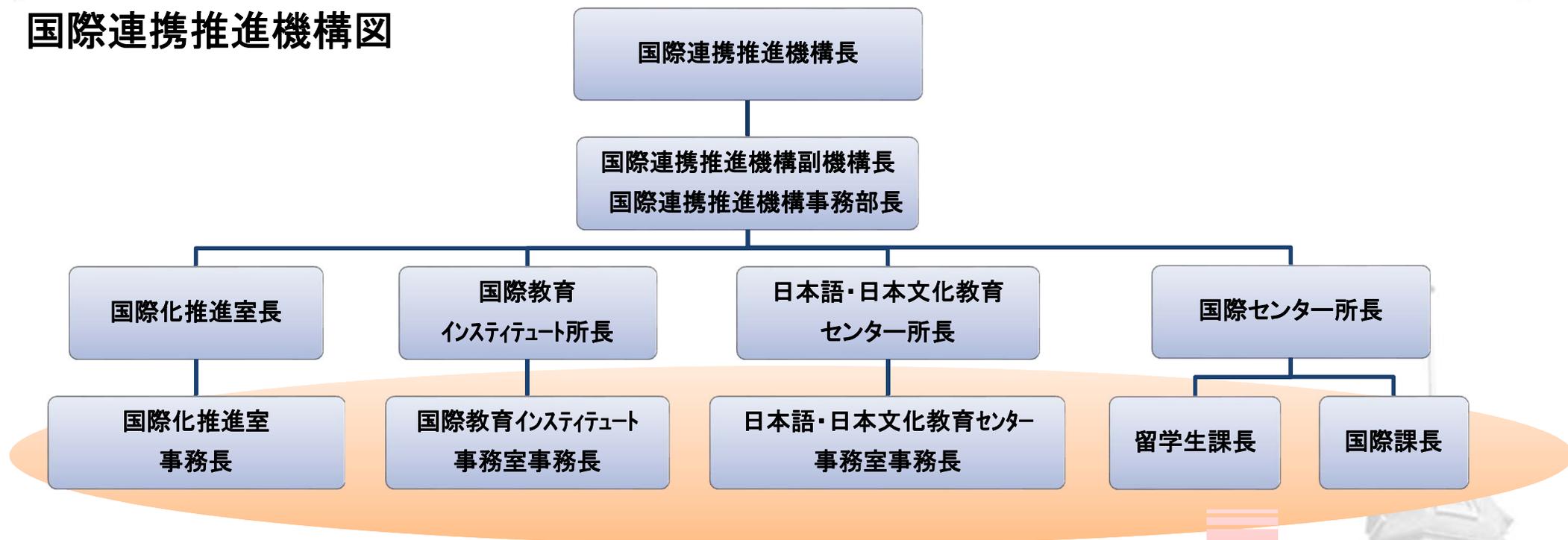
国際業務の情報共有化  
Wordingの統一  
学内文書の英文化

# 4 全学における国際化推進体制の充実 II

## 国際化の取組・運営方針の審議・決定

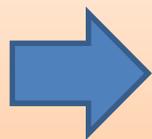


### 国際連携推進機構図



### 数字で見る体制の充実 (2009年度 → 現在)

専任職員数: 10人  
(その他スタッフ: 26人)



21人 (その他スタッフ: 43人)

国際関連部署数: 2事務室



5事務室



各種制度

期待される効果

入学

- 海外入試制度
- 渡日前奨学金制度

- 受験生の利便性向上
- 全正規留学生への奨学金給付を達成

在学

- 生活支援アドバイザー制度
- 留学生住宅総合補償制度
- 英語によるカウンセリング体制
- 外国人留学生奨学金制度
- 学習・研究支援チューター制度

- 生活環境の改善
- 不動産契約時の保証人確保の負担軽減
- メンタルケアにおける 利用機会の拡大
- 経済的負担の軽減
- 研究高度化の促進

就職

- キャリア・コーディネーターの雇用
- 外国人留学生のための就職ガイド
- 「ビジネス日本語」講座

- キャリアサポートの強化

## 入学制度の改革

- 入学試験の複数回実施
- 受験生の経済的負担軽減(従来受験料:35,000円→現在:15,000~10,000円)
- 現地試験の同日実施  
(韓国:ソウル/台湾:台北/ベトナム:ハノイ/インドネシア:ジャカルタ)
- 外部語学能力試験の利用(EJU, TOEFL・TOEIC・IELTS等)
- 入学試験要項の多言語化および関連書類のダウンロード化
- オンラインレジストレーション受付の導入
- インターネットを利用したクレジットカードによる検定料納入方法の導入
- 高性能テレビ会議システム等を用いた面接の実施
- 韓国・台湾事務所による出願書類受付

英語コース(国際教育インスティテュート(ILA)・グローバルMBAコース)  
におけるローリングアドミッションの導入

### 海外指定校推薦入学制度の新設

- 韓国、中国、台湾、ベトナム、オーストラリア、フィリピンにおける優秀な高等学校との指定校推薦入学にかかる協定を締結。  
(2012年9月現在34高校)
- 現地説明会および現地面接試験の実施。



受験生の  
利便性向上

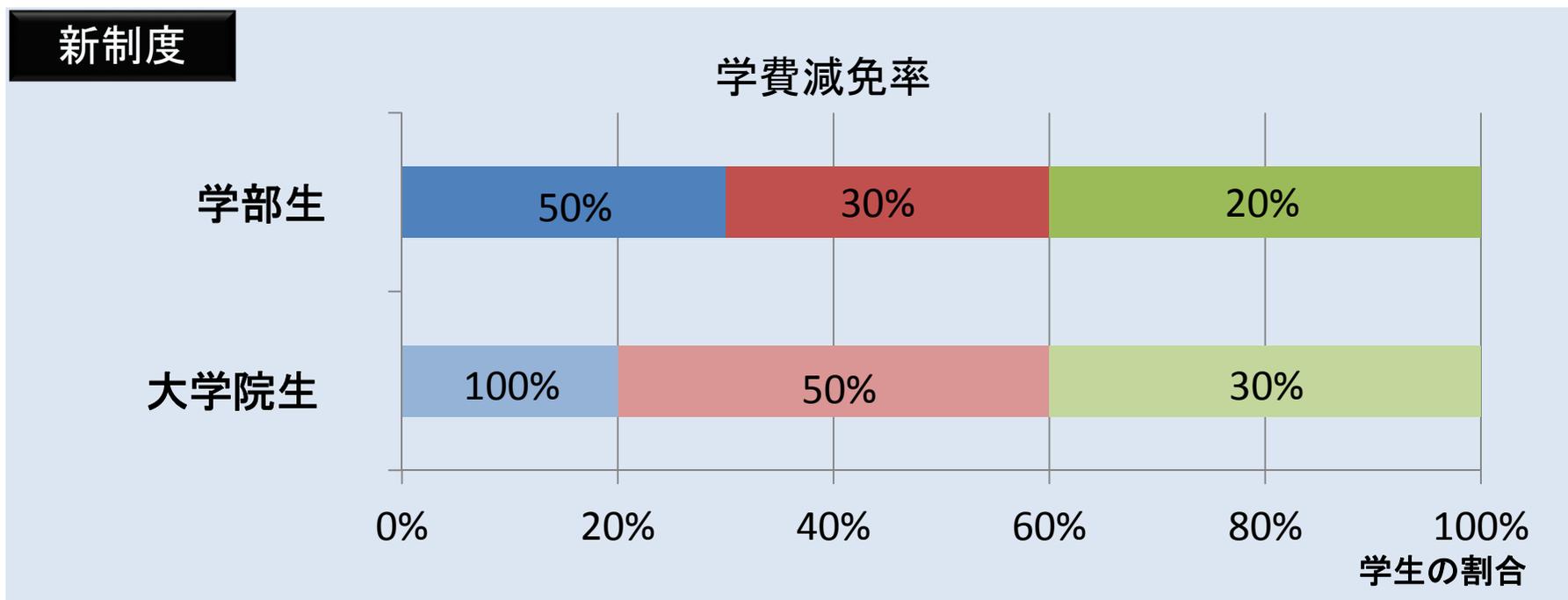
受験機会の  
増加

多様な学生

多数の学生

優秀な学生

## 奨学金制度の充実



### その他の奨学金制度

- 外国人留学生奨学金
- 大学院奨学金
- 育英奨学金
- 留学生コース奨学金
- 特定国からの外国人留学生に対する支援奨学金
- 上記以外の奨学金

(文部科学省、日本学生支援機構、地方公共団体、その他民間団体)

## グローバル30関西地区連絡会

実施時期	主管大学	テーマ	内容
2011年11月	大阪大学 立命館大学	派遣・受入プログラムの事例研究 ワークショップ	京都大学、同志社大学共催のもと、留学生受入および学生海外派遣に関わる事例研究ワークショップを実施し、大阪大学、立命館大学より講師を派遣し事例紹介を行った。
2011年12月	京都大学	留学交流の危機管理およびメンタルヘルスケアに関するシンポジウム	関西地区のG30採択4大学に加え、龍谷大学、神戸大学、広島大学、パナソニックの協力による留学交流の危機管理とメンタルヘルスケアに関するシンポジウムを実施。
2012年1月	同志社大学	英語による授業に関する ワークショップ	G30関西地区4大学共催で、英語による授業・学生支援関係のワークショップ（英語使用：35大学より110名参加） テーマはDeveloping English Undergraduate Programs in Japan: Pedagogy, Recruitment, and Student Life
2012年11月	同志社大学	同志社大学SDワークショップ 「大学職員のグローバル化」	グローバル化する大学で働く職員に求められる役割、職員自身のグローバル化について検討、意見交換することを目的に、SDワークショップ「大学職員のグローバル化」を開催予定。

### 中間評価における留意事項

英語による授業のみによる学位取得が目的であるにしても、日本人学生との交流ができるレベルの日本語の習得について、プログラムに組み込んでほしい。

ムスリムの留学生に対し、ハラール・フードや礼拝場所の確保を標準化してほしい。

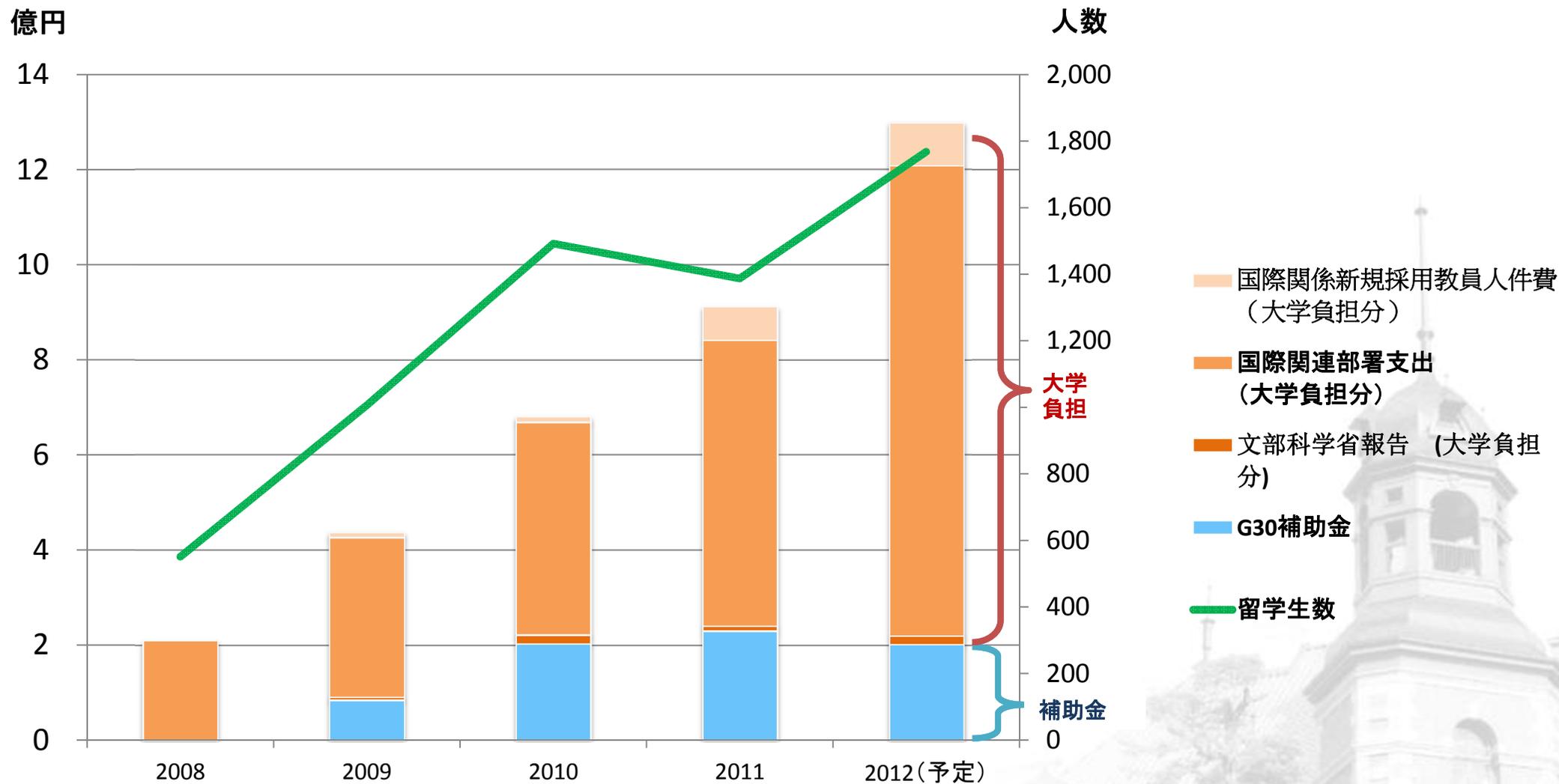
もっと日本人学生との交流の機会を設けてほしい。

### 解決済み

既に9レベルの日本語授業を設置しているため、履修のメリットを更に周知徹底する。

改善点の指摘を受けた直後、本学食堂にてハラール・フードの導入が決定。今年中にサービス予定。また、礼拝場所の確保も決定。

日本人学生と外国人学生との交流会「インターナショナルデー」を積極的に展開。  
また、各国のお茶の時間をテーマに、その国ならではののお茶とおやつを味わいながら、留学生と日本人学生の交流を行う「World Cafe」も開催。



大学負担の増加

## 今後の課題とG30事業終了後の展開

### 課題

#### ▼中国での展開

- ・留学生入試制度の見直し  
(「日本留学試験(EJU)」による学部外国人留学生入試判定の問題)
- ・日本語能力は充分ではないが、潜在能力の高い(優秀な)学生への対応
- ・学歴詐称、書類の偽造対策
- ・日本留学仲介業者を巡るトラブルの対応

#### ▼質保証について

- ・受験者の専門知識の見極め(特に理系)
- ・単位の互換性(3年次編入、交換留学、短期プログラム等)

#### ▼その他

- ・海外の3年制大学等、大学の入学に必要な学歴の判定

入試制度  
学生の質保障

### 今後の展開

**G30事業終了後も、グローバル人材育成推進事業への継承も含めた国際化推進を継続**